

地域密着型サービス 第2回運営推進会議（書面案内）

事業所名 : グループホームおくうら
 開催日時 : 令和4年8月20日（土） 書面に送付による開催
 開催場所 : クループホームおくうら会議室
 出席者 : 10人

利用者	2	有識者	1
利用者家族	2	五島市職員	1
地域住民代表	1		
事業所職員：全員へ文書供覧			3
(管理者、介護職員、社長)			

上記、利用者家族、地域代表等へ書面で報告

議事・報告内容

1. 利用者の状況（R4年8月現在）

(1)入居者数 9名

(2)要介護度

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
入居者	1	3	3	1	1	9

(3)男女別 男性：2人 女性：7人

(4)平均年齢：84.7歳（R4年8月現在）

(5)入居・退所等

6月：入院1名、退院1名

7月：入院1名

8月：入居1名、退所1名

2. 活動状況報告

(1)行事・イベント

月日	行事・イベント等	備考
6月15日	井上医院往診	
6月23日	火災発生時の避難誘導訓練	
7月5日	4回目ワクチン接種（マリア病院医師）	
7月12日	4回目ワクチン接種（マリア病院医師）	
7月20日	井上医院往診	
7月27日	GHおくうら運営指導（14：00～ZOOM）	
8月13日	誕生会	
8月29日	スタッフ会議	

(2)職員の状況

- ・ 男性 2名 女性 6名
- ・ 年齢別

区分	30代 0名	40代 0名	50代 3名	60代 5名	計8名
----	--------	--------	--------	--------	-----

- ・ 資格 介護支援専門員3名、介護福祉士4名、実務者研修1名、ヘルパー2級2名
(重複して有する資格を含む)
- ・ 勤続年数 3年未満2名、10年以上4名、15年以上2名

(3)各種委員会の開催

6月21日 事故防止対策委員会・・・別紙参照

議題：老人施設における事故事例について

①骨折・打撲の事例を通して、その原因、再発防止を考える

○歩行中や車イス走行中の転倒について

- ・ 他の利用者と一緒に浴室へ向かう途中で、扉止めにつまずいて転倒し右足を骨折した事例について
- ・ 居室のドアを叩く音が聞こえたため、職員が居室へ行ったところ、入り口付近で転倒しており、左足を骨折した事例について
- ・ ベットから立ち上がり、歩いたところ、滑って転倒し右足を骨折した事例について

7月27日 身体拘束廃止委員会・・・別紙参照

議題：身体拘束の禁止の対象、身体拘束がもたらす弊害について

①身体拘束の対象となる具体的な行為について

- ・ 徘徊しないように、車イスやイス、ベットに体幹や四肢をひも等で縛る
- ・ 転落しないように、ベットに体幹や四肢をひも等で縛る
- ・ 自分で降りられないように、ベットを柵で囲む
- ・ 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも頭で縛る
- ・ 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける
- ・ 車イスやイスからずり落ちたり、立ち上がったたりしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車イステーブルをつける
- ・ 立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるようなイスを使用する
- ・ 脱衣やオムツ外しを制限するために、介護衣（つなぎ）を着せる
- ・ 他人への迷惑行為を防ぐために、ベット等に体幹や四肢をひも等で縛る
- ・ 行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる
- ・ 自分の意志で開けることのできない居室等に隔離する

②身体拘束がもたらす多くの弊害について

- ・ 身体的弊害
- ・ 精神的弊害
- ・ 社会的弊害

(4) 各種周知事項

- ①4回目ワクチン接種について
- ②R4年度処遇改善加算等について
- ③「高齢者虐待」と「ハラスメント」の違い等
- ④施設に対する実施指導

令和4年度より「実地指導」が「運営指導」に変更になった。

以上